

令和6年度 水利施設保全管理補修部門 中央研修会の開催

(一社) 農業土木事業協会

2024(令和6)年11月15日に令和6年度水利施設保全管理補修部門中央研修会を開催しました。

(一社) 農業土木事業協会 水利施設保全管理補修部門では、農業水利施設の保全管理・補修分野における既存技術の効率的かつ効果的な利活用に加え、新技術・工法の積極的な導入による質の高い保全管理・補修を行うことが、会員、調査・診断を行うコンサルタンツ及び補修工事を行う施工業者にとって重要な責務の一つと考え、2018(平成30)年度より本研修会を行っています。

オンライン方式で開催している今年度の本研修会へは、協会会員のほか発注者及びコンサルタンツ及び土地改良事業団体連合会の技術者等から、約300名の参加がありました。

2024(令和6)年度は、以下の内容で、研究機関の専門技術者を含む材料メーカー技術者5

名より講義をいただきました。

特に、今年度は農業水利施設機能総合診断士の登録更新に課している、業務経験レポートにおいて優秀賞を受賞しました藤原様に、その内容について発表していただきました(他の優秀賞の方は都合により発表を辞退)。

なお、開催当日、都合により参加できなかった方を含め、農業水利施設の保全補修に携わる多くの方々にご視聴いただきたく、当協会のホームページ(「技術情報」:<https://www.jagree.or.jp/archive/>)上に各講義の動画及び講義資料(パワーポイントPDF版)を掲載しましたので、是非、ご視聴ください。

最後になりますが、本研修会にご参画頂いた講師の方々や事業協会の活動等を支えてくださっている会員、運営に携わった幹事会の皆様へ誌面をお借りして御礼を申し上げます。

※講師の役職・敬称等は省略

講義プログラム	
	<p>■講義 1 「可塑性グラウト充填工法「AQUA-MATE Plus (J)」 キザイテクト(株) 近藤 賢</p>
	<p>■講義 2 「簡便かつ定量的な摩耗調査に向けた型取りゲージ画像解析プログラム」 農研機構 農村工学研究部門 金森 拓也</p>
	<p>■講義 3 ※ 「AIを活用した劣化予測の農業用パイプラインへの適用性の評価」 農業水利施設機能総合診断士 藤原 鉄朗(日本工営(株))</p>
	<p>■講義 4 「既設管の内面載荷診断システム」 (株)栗本鐵工所 藤本 光伸</p>
	<p>■講義 5 「さや管口径の縮小化を実現した非開削による耐震パイプラインの構築」 (株)クボタ 山本 竜也</p>

※講義3の内容について、本誌では不掲載。